

エコアクション21・環境経営レポート

(対象期間：2023年10月～2024年9月)

発行日：2024年12月1日



山本松産業株式会社



 YAMAMOTOMATSU
Bedding making & cleaning

目次

| | |
|---|------|
| ご挨拶 | ---1 |
| SDGS 未来への約束 | ---2 |
| 1・事業の概要 | ---3 |
| 2・環境経営方針 | ---4 |
| 3・組織 | ---5 |
| 4・主な環境負荷の実績 | ---6 |
| 5・環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と 評価、並びに次年度の環境目標及び環境経営計画 | -6 |
| (1)環境経営目標及び当期の実績 | -6 |
| (2)環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の 計画の内容 | -7 |
| 6・環境関連法規などの遵守状況の確認、評価の結果、 違反、訴訟などの有無 | --8 |
| 7・緊急事態訓練の記録 | --9 |
| 8・地域などの環境活動の一例 | --9 |
| 9・総括(代表者による全体の評価と見直し・指示) | --11 |



ご挨拶 Greeting

当社は、創業 100 年、昭和32年より続いている製綿業の枠を超えて、医療機関や福祉施設・教育機関・官公庁などの企業向けレンタル布団と一般のお客様向け商品の企画(通信販売)と、縫製加工並びに寝装寝具用品の製造販売をしております。

近年、厳しい経済情勢・激変する社会状況において製造現場が大きく変わってきました。国内では 900 社を下回ってメーカーは減少してきました。超高齢化社会においては消費構造の変化が予測され、「安心」・「清潔」・「安全」な商品を誠実に作ることをモットーとしております。

今、国民の皆様が重要視しているのは、「健康」であり「介護」、「快眠」であります。単に寝るためだけでなく健康増進、美容そして環境など多角的な見地から見て商品開発を目指し、これまでも4R活動をしております。

2016 年からエコアクション21に取り組みを始めました。その要因は2点あります。

1 番目は、粗大ごみとして捨てられる布団の中綿をリメイクし快眠布団として商品販売させて頂いていることです。本業が自然循環型の再興に寄与することが要因の一つです。

2 番目は、組織経営をする中で、役割分担をして PDCA サイクルを回すことにより、共に育つ社員育成や、風通しの良い風土作りに取り組みながら、生産性の向上が挙げられます。環境に優しいもの作りで社会に貢献することが自社にとり意義があり、経営理念として掲げております。

この間、取り巻く環境も大きく変化し、自然災害や気候変動に伴う異常気象が起こっております。地球温暖化等の環境問題に対し、当社においても未来を切り拓く子供達や世界の人々の幸せのために、2015 年のニューヨークの国連本部で開催された「持続可能な開発サミット」の行動目標は、目が離せないと感じました。地球規模で取り組むべき国際目標「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)略してSDGs」は世界を変える道しるべであり、当社も、SDGsを指針として企業の根幹に置きます。目標達成に向けて行動して参ります。これからもステークホルダーや地域と共に歩み社会に貢献して参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

山本松産業株式会社
代表取締役 山本 康雅

SDG s 未来への約束

Sustainable (持続可能な)・Development (開発)・GoaiS (目標：到達点)

- ・当社は、多様な人たちが共に尊重しながら活躍できる社会をめざします
- ・当社は、事業活動を通して、持続可能な社会の実現に努めます
- ・当社は、エコアクション21等の環境への取り組みを通して環境負荷の低減に努めます
- ・当社は、環境に優しいモノづくりで地域社会に貢献します



| SDG s の取り組み | | |
|---------------------|--|------------|
| テーマ | 取り組み | 関連する SDG s |
| 貧困をなくそう | 雇用を守り維持発展させる企業を目指す。途上国からインド綿・メキシコ綿を仕入れている。売り上げの1%を慈善活動に寄付する。 | |
| 平和と公正・餓死をゼロに | サステイナブルな商品の売り上げ金の1%を国境なき医師団に寄付している。日本赤十字社奈良県支部に寄付している。 | |
| 全ての人に健康と福祉を・不平等をなくす | 2024年健康優良法人認定。仕事と治療の両立支援。女性活躍推進クラブ認定登録。社員シャイン認定登録。 | |
| 作る責任使う責任 | ゴミとして捨てられる布団の中綿を健康寝具としてリメイクし商品販売している。半端な生地を使用して布巾・汚れ防止材として活用。無人駅に座布団配布 | |
| 住み続けられるまちづくり | 地域清掃活動に参加。サステイナブルな商品を寄付(天理市役所・他)雇用を守り社員の生活を守る | |
| 質の高い教育を | 全社員が環境に取り組むことの重要性を理解し、省エネや廃棄物削減などに取り組んでいる | |

1. 事業の概要

(1) 名称及び代表者名

山本松産業株式会社

代表取締役 山本 康雅

(2) 所在地

本 社 〒632-0052 奈良県天理市柳本町889-1

工 場 同 上

(3) 事業内容

企業様向け布団の製造・卸及び販売・商品企画

一般のお客様向け寝装寝具の製造販売・布団のクリーニング・通信販売

(4) 創 業 : 昭和32年10月31日

設 立 : 昭和62年11月12日

(5) 環境活動の範囲

事業 寝装寝具の製造・卸及び販売

範囲 全組織・全活動

(6) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役 山本 玲子

担当者 同上

電話・ファックス TEL:0743-67-0341 FAX:0743-67-0342

(7) 事業の規模

資本金 : 1000万円

従業員 : 13人 (役員3人、正社員3人 パート7人)

工場敷地面積:1153.7㎡ 建床面積:870.98㎡

駐車場 :221㎡

(8) 事業年度

10月～翌年9月

2. 環境経営方針

【当社の理念】

当社は、快眠布団を普及する事で、多くの方の健康に寄与し、布団のリフォームというリサイクルシステムにより、環境への取り組みをします。地球温暖化の防止においては、資源循環型企業を目指し、社会のニーズに的確に対応します。

以上のことから、環境省が定めるエコアクション21（環境マネジメントシステム）を環境経営活動として実践、継続的な取り組みを実施します。社員一同が誇りを持って社会にお役に立つ環境経営を実行し、環境負荷の低減と汚染の予防を図り下記のように環境経営方針を定めます。

【環境経営方針】

1・エコアクション21に基づき、環境関連の法令、条例等の規制事項を遵守し、地域や顧客の環境関連要求に配慮して、環境経営活動の継続的な改善を図ることを誓約します。地域貢献については、環境経営システムを取り入れ計画的に実施します。

2・4つの目標及び計画を実施します。

- ① 廃棄物の減量化と分別によるリサイクルに努めます。
- ② 電力使用量の削減と運搬車両等の燃料削減に努めます。
- ③ 用水の使用量削減に努めます。
- ④ 生産・販売する製品の環境性能の向上に努めます。

3・環境コミュニケーションを通じて、環境活動の状況を内外に伝達します。

4・全従業員に、環境経営方針を周知します。

5・4Rを推奨します。

Refuse 不要なもの余計なものはいりません。

Reduce ゴミを減らす。

Reuse まだ使えるものは繰り返し使う。

Recycle 資源としてまた利用する。

6・SDGsを取り入れながらエコアクション21の取り組みをする。

7・環境への取り組みを適切に実行する為の人員、経営資源を準備します。

8・環境に経営を位置づけて環境経営推進をめざし、経営における課題とチャンスを明確にして環境への取り組みを反映させます。

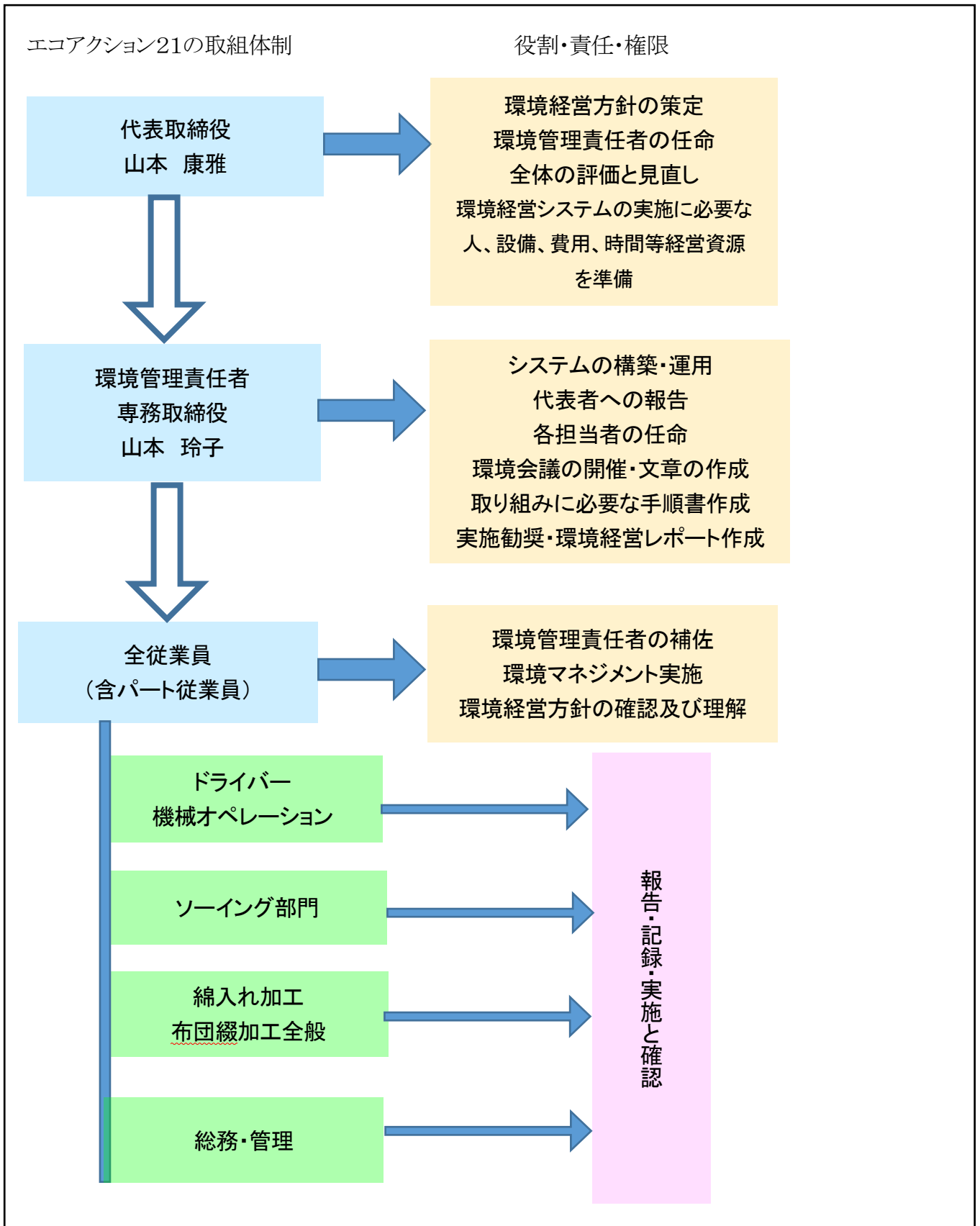
改訂2・2021年11月10日

改訂1・2021年6月10日

制定日・2017年9月30日

山本松産業株式会社 代表取締役 山本 康雅

3. 組織



4. 主な環境負荷の実績

※CO2 排出係数は、2016 年度の関西電力の調整後排出係数 0.493kg-CO2/kWh を使用している。

| 項目 | 単位 | 33期 2019年10月～ 2020年9月迄 | 34期 2020年10月～ 2021年9月迄 | 35期 2021年10月～ 2022年9月迄 | 36期 2022年10月～ 2023年9月迄 |
|--------------------------|--------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 |
| 二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量) | kg-CO ₂ | 31,112 | 31,409 | 36,879 | 36,601 |
| 一般廃棄物排出量 | Kg | 6,690 | 6,020 | 8,260 | 9,200 |
| ※総排水量 | m ³ | 85 | 89 | 71 | 69 |
| リサイクル布団 | 枚 | 64,305 | 74,001 | 68,064 | 67,375 |

5. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営目標及び当期の実績

※CO2 排出係数は、2023 年度の関西電力の調整後排出係数 0.351kg-CO2/kWh を使用している。

※化学物質は使用していない。

| | 単位 | 36期 2022年10月～ 2023年9月迄 | 37期 2023年10月～ 2024年9月迄 | | 評価 | 38期 2024年10月～ 2025年9月迄 | 39期 2025年10月～ 2026年9月迄 | |
|-------------------------|------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------|-----------------|------------------------------|------------------------------|-----------------|
| | | (基準年度) | 基準年度比 (目標) | (実績) | | 基準年度比 (目標) | 基準年度比 (目標) | |
| CO ₂ 排出量の削減 | 電力の削減 | kWh | 58,147 | 99.5% 57,856 | 82.8% 47,910 | ○ | 99.0% 57,566 | 98.5% 57,275 |
| | ガソリンの削減 | L | 1,627 | 99.5% 1,619 | 89.2% 1,444 | ○ | 99.0% 1,611 | 98.5% 1,603 |
| | 軽油の削減 | L | 2,942 | 99.5% 2,927 | 102.9% 3,012 | × | 99.0% 2,913 | 98.5% 2,898 |
| | CO ₂ 排出量の削減 | kg-CO ₂ | 31,775 | 99.5% 31,616 | 88.4% 27,937 | ○ | 99.0% 31,457 | 98.5% 31,298 |
| 一般廃棄物の削減 | kg | 9,200 | 99.5% 9,154 | 103.3% 9,460 | × | 99.0% 9,108 | 98.5% 9,062 | |
| ※水道水の削減 | m ³ | 69 | 99.5% 69 | 110.7% 76 | × | 99.0% 68 | 98.5% 68 | |
| リサイクル布団の促進 (販売促進で増加) | 枚 | 67,375 | 100.5% 67,712 | 116.4% 78,833 | ○ | 101.0% 68,049 | 101.5% 68,386 | |
| リサイクル品寄贈 地域清掃活動 | 回 | 2 | 1 | 3 | | 1 | 1 | |
| | | 5 | 1 | 4 | ○ | 1 | 1 | |

(2) 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

| 項目 | 取組内容 | 達成率 | 取組評価 | 取組結果と評価、次年度の取組計画 |
|---|---------------------------------------|--------|--|---|
| CO2量の削減 | 電力の削減 目標 57,856kWh 実績 47,910kWh | 117.2% | ○ | ・社内全体で節電を意識し省エネルギーに努めた結果、目標を大きく上回る成果を上げることができた。 ・次年度は節電意識の継続と、暖房機器の一部を電力から灯油への切替を予定している。 |
| | ガソリンの削減 目標 1,619L 実績 1,444L | 110.8% | ○ | ・配送業務の一部を外部業者に委託したこと、普通自動車の使用頻度を減少させてことでガソリンの使用量が減少した。 ・次年度も今年度の対策を継続したい。 |
| | 軽油の削減 目標 2,927L 実績 3,012L | 97.1% | × | ・エコドライブに努めたが、トラックの配達数の増加により軽油使用量が増えた。 ・エコドライブのさらなる徹底と配送経路の工夫を検討したい。 |
| | CO2量の削減 目標 31,616 実績 27,937 | 111.6% | ○ | ・電力・ガソリンの使用量削減により成果が出た。 ・次年度も取組を継続するとともに引き続きエコドライブの強化に努めたい。 |
| 一般廃棄物の削減 目標 9,154kg 実績 9,460kg | 96.7% | × | ・リサイクル布団の製造枚数が増加したことにより、排出されるごみの量も増えた。 ・分別を強化し廃棄物の削減を目指したい。 | |
| 水道水の削減 目標 69㎡ 実績 76㎡ | 89.3% | × | ・節水に取り組んできたが、目標を下回る結果となった。 ・引き続き全従業員に節水の重要性についての認識を徹底したい。 | |
| リサイクル布団の促進 (販売促進で増加) 目標 67,712枚 実績 78,833枚 | 116.4% | ○ | ・新規顧客の獲得により、リサイクル布団の製造枚数が増加した。 | |
| リサイクル品の寄贈 目標 1 実績 3 | 1.地域貢献活動として実施 | - | ○ | ・引き続き貢献活動を推奨する。 |
| 地域清掃活動 目標 1 実績 4 | 1.地域貢献活動として実施 | - | ○ | ・引き続き貢献活動を推奨する。 |

6. 環境関連法規などの遵守状況の確認、評価の結果、違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規等

| | 法律、条例名 | 遵守すべき事項 | 遵守状況 |
|---|----------|--|------|
| 1 | 廃棄物処理法 | <ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物及び産業廃棄物の表示と分別管理 一般廃棄物処理業者は市町村長の許可の確認 | 遵法 |
| 2 | 騒音規制法 | <ul style="list-style-type: none"> 騒音規制基準の遵守 対象特定施設の届出 | 遵法 |
| 3 | 消防法 | <ul style="list-style-type: none"> 消防用設備等の点検・報告 火災報知機・屋内消火栓の設置 | 遵法 |
| 4 | 資源リサイクル法 | <ul style="list-style-type: none"> 基本理念と事業者の責務 | 遵法 |
| 5 | フロン排出抑制法 | <ul style="list-style-type: none"> 適切な運転管理での漏えい防止 ・ エアコンの簡易点検 | 遵法 |

(2) 違反・訴訟等の有無

- ・ 自社の事業活動に関する法令違反はありません。
- ・ 関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間なく、訴訟もありません。

※ 次回環境活動レポートの発行は、2025年12月の予定です。

7. 緊急事態訓練の記録

| | | |
|--|---|---|
| <p>2024年5月23日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震防災訓練、火災訓練 ・(有)小塚防災による消火設備等の説明、点検 |  |  |
|--|---|---|

8. 地域等の環境活動の一例



- ・2023年12月
 - ・2024年8月
- 清掃活動
場所: 奈良県天理市柳本町当社から
JR柳本駅周辺



- ・2023年10月(天理市に環境にやさしい赤ちゃん用布団の寄付)
 - ・2023年11月(座布団制作)
 - ・2023年12月(座布団配置)
- 配置場所: JR柳本駅・長柄駅・纏向駅・三輪駅
- ・2024年4月座布団回収
- ※無人駅に配置した座布団は梅雨前に回収し仕立直しをします。





- 2017 年なら女性活躍推進倶楽部認定
- 2017 年奈良県シャイン社員職場作り 推進企業認定
- 2019 年健康優良法人認定
- 2020 年健康優良法人認定
- 2021-2023 年健康優良法人プライム 500 認定
- 2024 年健康経営優良法人認定

布団のリフォームで「子供たちの命を救う」



布団 1 枚で栄養治療食.....
 はしかの予防接種.....



皆様より頂戴した一般のお客様向けリフォーム商品の売上金1%を「認定 NPO 法人」を通して寄付させて頂いております。

9. 総括(代表者による全体の評価と見直し・指示) 2024年12月1日

原材料・ガソリン・電力費の高騰、そして円安の影響により、依然として厳しい経営環境が続いています。しかし、このような状況下だからこそ、環境活動の重要性や意識改善の必要性をより強く実感しております。

今後は、商品の付加価値を高め、価格決定権を持つことを目指すとともに、新たな市場の開拓にも積極的に取り組んでまいります。事業再構築補助金を活用して導入した機械やマシン、また、IT補助金による事務所のIT化を通じて、会社全体の業務効率化と改善活動を継続してまいります。さらに、工場内ではDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を進め、生産性の一層の向上を図っていく所存です。

また、当社は6年連続で「健康経営優良法人」に認定されており、今後も社員一人ひとりの心身の健康を大切にしながら、健康で活力ある会社づくりを目指してまいります。

長引くウクライナ情勢など、世界的な不安要因も多い中、外部環境の変化を注視しつつ、慎重かつ迅速な対応を常に心がけてまいります。

社内体制の強化にも引き続き力を注ぎ、顧客ニーズにより高い次元でお応えできる企業を目指して、社員一丸となって取り組んでまいります。生産性の向上に加え、安全・健康を第一に、エコアクション21の活動にも着実に取り組んでまいります。

| | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制他 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |